

令和2年度弘前圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会 書面協議結果

1. 協議事項 第2次弘前圏域定住自立圏共生ビジョン変更版（案）について

協議期間：令和2年11月13日～令和2年11月30日

協議結果：了承する20名、了承しない0名（委員数20名）

2. その他、弘前圏域定住自立圏共生ビジョンに関する意見等と回答

①

<p>【ビジョン該当箇所】19～20ページ</p> <p>第Ⅱ章 圏域の現状及び課題</p> <p>6 生活機能</p> <p>(3) 福祉 ■児童福祉、(4) 教育 ■義務教育</p> <p>【意見】児童福祉と教育、どちらの分野についても、少子化による影響や課題が前提となり、様々な取り組みを推進したいという方針であることが感じ取れますが、現時点での全体像が全く見えないため、少子化に対して不透明感があります。</p> <p>例えば、就学前児童（0～6歳）が現在在籍する施設（幼稚園、認定こども園、保育園、認可外施設）の数、現在の利用児童数などを20ページの表→小中学校・児童・生徒数の状況のように、表に示すことで、圏域の就学前児童数（全体）から見える少子化の課題が捉えやすくなると思います。</p>

【回答】現行のビジョンの構成では、少子化を含む人口に関する現状と課題については第Ⅱ章「4 人口等の推移」においてとりまとめ、また、児童福祉や義務教育の現状と課題について同章「6 生活機能」としてまとめることとしておりますが、圏域住民の皆さんに理解を深めていただくためにも、ご提案のとおり、下記の表を追加いたします。

表 幼稚園等の施設数及び在籍児童数の状況

区分	幼稚園		認定こども園		保育所		認可外保育施設※		※うち企業主導型保育施設		計	
	施設数	在籍児童数	施設数	在籍児童数	施設数	在籍児童数	施設数	在籍児童数	施設数	在籍児童数	施設数	在籍児童数
弘前市	7	403	29	2,243	39	2,647	12	345	(3)	(161)	87	5,638
黒石市	1	20	11	644	5	308	-	-	-	-	17	972
平川市	1	22	10	824	3	194	1	6	(1)	(6)	15	1,046
藤崎町	1	11	3	326	3	226	-	-	-	-	7	563
板柳町	-	-	2	161	4	184	-	-	-	-	6	345
大鱈町	-	-	2	97	2	103	-	-	-	-	4	200
田舎館村	-	-	1	101	2	141	1	28	-	-	4	270
西目屋村	-	-	-	-	1	34	-	-	-	-	1	34
圏域計	10	456	58	4,396	59	3,837	14	379	(4)	(167)	141	9,068

（作成：弘前市企画課 令和2年4月1日現在）

②

【ビジョン該当箇所】 53 ページ

第IV章 協定に基づき推進する具体的取組

2 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(2) 地域内外の住民との交流・移住促進

② 移住・定住の促進 重要業績評価指標 (KPI)

【意見】 コロナ禍の中で、地方移住、テレワークによる就業が話題になり、一極集中のなかで少し変化がみえるようです。

目標値をもう少しあげても良いかなという感想を持ちました。

【回答】 コロナ禍の中で地方移住への関心が高まりつつあり、圏域としても取組の必要性を感じております。今後、テレワーク移住などに関する調査研究を行いながら、具体的な事業を検討してまいりたいと考えております。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける指標については、今年度の実績値を取得した後、来年度に予定している第3次ビジョンの策定において、施策全般的に見直しを図ってまいります。

③

【意見】 文化財・観光について

我が家で町の文化財（第1号）の管理を先代より受け継いでいます。先日、消防設備の件で所有者と話をすることがありました。大切に頂くことは有難いけれど、「歴史はごはんを食べさせてはくれない」と聞きました。保存継承が難しいということでした。年に何度か活用公開されることはありますが、地元の人でもまだまだ知らないことが多々あると思います。広範囲での新しい観光の形を期待したいです。

【回答】 弘前圏域では、広域観光商品の充実に取り組んでおり、観光コンテンツの磨き上げ及び掘り起こしを図っているところです。コロナ禍により、地元の人による近場の観光の重要性が見直されている中、引き続き、文化財の活用をはじめとした、観光コンテンツの磨き上げに取り組んでまいります。